

シン学資保険型スキーム

いままでの学資保険の常識を打ち破る!

日本初!

全く新しい視点から生み出された長期積立分散投資型の『投信』と保護者を被保険者にした合理的で割安な『保険』をコンバインさせたスキームのご紹介です

驚きの実績と幅広い活用範囲!

おじいちゃん、おばあちゃんの相続対策にまで役立てられる

シン学資保険型スキームです!

我が国の大きな課題

天然資源が少なく少子高齢化が進み人口減少が避けられないわが国では人材が最も重要な資源です。デジタル化、Ai化が進む現代にあっては特に高度な人材教育が必要とされているにもかかわらず、質の高い教育を受けるようにするためには高額な資金が必要となってしまうのが現実です

一般的な教育費データ

		学習費等(※1) 総額					必要な教育費総額
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学	
教育費	公立(大学は国公立)	66.7万円	193.0万円	144.6万円	123.0万円	457.5万円	
	私立(大学は文系学部)	149.4万円	921.5万円	401.6万円	298.6万円	675.5万円	
進学ケース	ケース1	すべて公立(大学は国公立)					984.8万円
	ケース2	私立	公立			私立	1,285.5万円
	ケース3	私立	公立		私立	私立	1,461.1万円
	ケース4	私立	公立	私立	私立	私立	1,718.1万円
	ケース5	すべて私立					2,466.6万円

※「学習費等」には授業料などの学校教育費や学校給食費、学校外活動費が含まれる。

資料: 幼稚園～高校までは文部省「平成26年度子供の学習費調査」をもとに作成。大学は日本政策金融公庫「教育費負担の実額調査結果平成27年度」をもとに作成。

【現状】・・・参考事例

従来の学資保険 期間 22 年間運用 (0 歳から大学卒業時 22 歳まで)

学資保険に入れる時期：一般的には0歳～6歳。現在は出産前から入れるものもあります。（一般的事例）

		お受取総額	
		300万円 <small>高額割引適用</small> (基準保険金額75万円)	200万円 (基準保険金額50万円)
保険料 払込期間	10歳まで	受取率 105.8% (月掛保険料 23,623 円)	受取率 104.8% (月掛保険料 15,899 円)
	15歳まで	受取率 104.3% (月掛保険料 15,970 円)	受取率 102.9% (月掛保険料 10,797 円)
	ご加入時に 一括払込	受取率 109.0% (保険料 2,749,776 円)	受取率 108.0% (保険料 1,851,139 円)

★従来の学資保険の一般的特徴(22年運用／0歳児加入の場合)

- ① 総払込保険料・受取総額
約194万円 ⇒ 満期時受取総額 200 万円 約287万円 ⇒ 分割受取総額(お祝い含む)300 万円
- ② 保険金の支払い
子供死亡時(払込相当額)※親の場合払込免除
- ③ 医療など特約付加が可能⇒元本がマイナスになる可能性大

30 年前
昔の学資保険はとっても良かったはずなのに・・・
理由はこれです！！

※金融庁ホームページより https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20170614-2/86_1.pdf
『長期・積立・分散投資と NISA 制度』8 ページ

金利の推移



(資料) Bloomberg, 日本銀行より、金融庁作成
(注) ~1999年1月は公定歩合、それ以降は無担保コール翌日物金利

(年)

【投信と保険のコンバイン型スキーム】のご紹介

シン学資保険型スキーム(ハイブリッド型): 期間(0歳~自由設定)

【シン学資保険型スキームの特徴】

◎期間: 払込期間: 0歳~15歳、18歳、20歳、選択可能。延長: 子供が中学3年(15歳)以上なら希望により終身運用まで延長可

◎月額積立支払い額: 代表3パターン

①スキームA: 月額13000円(積立部分約77%)

②スキームB: 月額25000円(積立部分約85%)

③スキームC非課税贈与枠: 年額110万円(積立部分約93%)

◎ 保険金の支払い: すべて被保険者は保護者、受取人は子供指定

親の死亡時・高度障害時 250 万円(契約時から設定期間・生涯最低保障保険金額設定可)
受取人: 子供指定(学費・生活費)※運用実績により増加(インフレ対応)

◎ 祖父・祖母からの生前贈与資金の活用

相続対策として絶大な効果

【スキームA】月額13000円(積立部分約77%型)

目標積立額: 約580万円/保護者死亡時保障: 1200万円

(ポートフォリオ選択によって変動します)

* 積立運用PFは選択、変更可・参考事例; 世界株式に連動させた場合 20歳時点で目標積立額約580万円

(想定年平均利回り7.9%(金融庁HP;『長期・積立・分散投資とNISA制度』P16参照))

【スキームB】月額25000円(積立部分約85%型)

目標積立額: 約1000万円/保護者死亡時保障; 約1550万円

(ポートフォリオ選択によって変動します)

* 積立運用PFは選択、変更可・参考事例; 世界株式に連動させた場合 20歳時点で目標積立額約1000万円

(想定年平均利回り7.9%(金融庁HP;『長期・積立・分散投資とNISA制度』P16参照))

【スキームC年払い型】年110万円非課税贈与枠(積立部分93%型)

(祖父母の相続対策含むプラン)・孫が大学卒業22歳時点

目標積立額: 約4644万円/保護者死亡時保障約4655万円

(ポートフォリオ選択によって変動します)

* 積立運用PFは選択、変更可・参考事例; 世界株式に連動させた場合 20歳時点で目標積立額約4644万円

(想定年平均利回り7.9%(金融庁HP;『長期・積立・分散投資とNISA制度』P16参照))

※あくまでも参考値となります。保険の場合には被保険者の年齢や性別により異なります。

この圧倒的差の理由はこれです！！

※金融庁ホームページより https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20170614-2/86_1.pdf
『長期・積立・分散投資とNISA制度』16ページ

長期・積立・分散投資の効果②

世界の主な株価指数に20年間つみたて投資をした場合

期間: 1998/01/01 から 2017/12/31



日経平均株価指数	431.5	MSCIワールド (GROSS)	586.5	MSCIオールカントリー (GROSS)	566.3
MSCIマージング・マーケット (GROSS)	683.7	S&P 500種株価指数 (配当込み)	652.8	積立総額	240.0

本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。
本資料はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の著作権です。イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の承諾なしの利用、複製等は厳禁。著作権法の罰則の対象となります。
※株価指数に直接投資することはできません。データは投資コスト、税金などを考慮していません。

Copyright © 2018 Ibbotson Associates Japan, Inc.

出所: Morningstar Direct

お問い合わせ

OSC consulting
Future Management & Future Control

オーエスシーコンサルティング株式会社

〒105-0022

東京都港区海岸 1-1-1 ACTY SHIODOME43階 PBオフィス

TEL: 03-5777-3728 FAX: 03-5777-3727 Email: info@osc-consulting.jp

〒104-0054

東京都中央区勝どき 173 勝どき駅ビルサンスクエア3階 株式会社OSC東京本社

TEL: 03-6228-2800 FAX: 03-6222-2117